

# 第5学年2組 外国語科学習指導案

授業日 平成30年6月19日(火) 4校時

授業者 附属新潟小学校 教諭 長谷川 郁貴

会場 5年2組教室

## 1 単元名

What do you have on Monday?

## 2 本単元の価値

本単元は、「小学校学習指導要領解説外国語活動・外国語編」の目標及び内容を受けて設定した。

### 第1 目標

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、コミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(2) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、身近で簡単な事柄について聞いたり話したりするとともに、音声で十分に慣れ親しんだ外国語の語彙や基本的な表現を推測しながら読んだり、語順を意識しながら書いたりして、自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる基礎的な力を養う。

(3) 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、他者に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

本単元の価値は、各教科の言い方や時間割について尋ねたり答えたりする表現を取り上げる。子どもにとって学校は1日の大半を過ごす場所である。そのような身近な学校が題材となり、英語で何というのだろうと興味をもって、各教科の言い方や時間割について尋ねたり答えたりする表現を学んでいく。これが本単元の価値である。

また、学んだ英語表現を用いて外国の時間割について触れていく。自国の時間割について学んだ子どもが、外国ではどのような時間割で学校生活を行っているのだろうと興味や関心がわくのは自然なことである。そして日本との違いやその国独自の時間割にも目を向けることで、外国語そのものだけでなく、外国語の背景にある文化に理解を深めることにもつながる。このことにも本単元の価値がある。

## 3 本単元で目指す姿

### 目的に合った英語表現を用いて、相互に不足した情報を補い合う子ども

具体的には、日本と異なる文化に着目し、目的に応じて必要な表現を考える「見方・考え方」を働かせ、目的、場面、状況に応じて外国語を使ってコミュニケーションを図る資質・能力を発揮して、「初めは相手の時間割が分からなかったので、○曜日には何の教科があるのかや、○曜日に△の教科はありますかと聞きたくなった。そしてWhat do you have on Monday?と尋ねると月曜日にどんな教科があるのかを、Do you have Swahili on Monday?と聞くとスワヒリ語が月曜日にあるのかを知ることができた。相手の時間割がほしい時に○曜日にスワヒリ語はありますかと質問したり、自分の時間割をあげたい時に○曜日にロシア語はありますかと質問したりしながら交流して時間割を完成させることができた。ケニアではスワヒリ語や農業、ロシアではゲームの授業をしていることが分かった」などと課題解決する姿。

## 4 本単元で育成する資質・能力、そのために子どもが働かせる「見方・考え方」

単元カード参照

## 5 指導計画 全7時間

単元カード参照

## 6 指導の構想

単元導入において子どもは、英語で時間割を伝えるということを理解し、必要な言語材料に触れてきている(C0)。

※ 英語表現 = I have ~~~ on Monday.

語彙 = 曜日 (Sunday, Monday, Tuesday, Wednesday, Thursday, Friday, Saturday)

教科 (japanese, math, social studies, science 等)

また、前単元では相手の話が聞き取れなかった場合、ゆっくり言ってもらい、繰り返し言ってもらい、スペルを書いてもらいなどして相手の思いを理解するための方法を学んでいる。

※ 英語表現 = Please speak more slowly.  
Once more please.  
How do you spell it?  
このような子どもに次のように働き掛ける。

#### 働き掛け 1

**各国の時間割をばらばらに組み合わせたものを配付し、疑問に思うことを問う。**

既存の知識とのずれを感じさせ、違和感をもたせるための働き掛けである。

まず、ケニア・ロシア・中国の時間割を曜日ごとに切り取り、ばらばらに組み合わせた資料を配付する。この際、全ての資料は渡さず、子どもによってもっている資料が異なるようにする。日本と異なる文化に着目し、目的に応じて必要な表現を考える「見方、考え方」を引き出すためである。子どもは配付された外国の時間割を見て、本当にその国の時間割になっているのか疑問をもつ。その後、疑問に思ったことを問う。違和感を表出させるためである。するとケニアが中国語を勉強しているのはおかしい、ロシアでスワヒリ語を勉強しているのは変だなどと既存の知識とのずれを感じ違和感をもつ。

#### 働き掛け 2

**違和感の原因を明らかにし、それを解決するためにどのような英語表現が必要かを問う。**

違和感を解消する見通しをもたせるための働き掛けである。

ばらばらに組み合わせた時間割を見て違和感をもった子どもに、なぜ違和感をもったかを問う。文化の違いに着目させるためである。子どもはケニアで中国語を勉強しているのはおかしい、ロシアでスワヒリ語を勉強しているのは変だ、他の国の時間割が混ざっているのではないかと感想をもつ。その後、どのような情報があれば違和感が解消するかを問う。子どもは、**日本と異なる文化に着目し、目的に応じて必要な表現を考える**という「見方・考え方」を働かせ、「○曜日に何の教科がありますか」「○曜日に△の教科がありますか」という表現があれば必要な情報が得られそうと考える。この際子どもは触れている英語表現が少ないため、考えた表現を英語で答える必要はない。その後、子どもが必要だと感じた英語表現を担当やALTが伝える。その後、その英語表現 (What do you have on ○○?) (Do you have △ on ○○?)があれば、知りたい情報が得られそうか試させる。

違和感を解消する見通しをもたせるためである。子どもは、その表現を使えば時間割を交換するという課題が解決できそうだと気付く。

#### 働き掛け 3

**誰に対してどの英語表現を使って関わろうとしているかとその理由を記述させる。**

学んだ英語表現を、目的に合わせて使い分けられるよう考えさせるための働き掛けである。

子どもたちにどの国の時間割を集めさせるの台紙を配付する。自分が集める国の時間割を確定するためである。すると子どもは自分がどの国の人と交流すれば時間割を交換できそうかを考える。その後、どの時間割を集めるか決まった子どもに、誰に対してどの表現を使って関わろうとしているかとその理由を記述させる。時間割を完成させるという目的に合わせて、意図的に英語表現を使わせるためである。すると子どもは、同じ国の時間割を集める友達とはカードを交換しなくてよい、違う国の時間割を友達とカードを交換する、また時間割を集め終わった友達とは確認のためにお互い話し合う必要性に気付き、学んだ英語表現はいつ、どのような場面で使えるのかを考える(②**思考力・判断力・表現力**)。

#### 働き掛け 4

**限定された集団の中で、ばらばらに組み合わせた時間割を正しい組み合わせに直す活動の場を設定する。**

必要感をもたせ、英語表現を繰り返し使わせるための働き掛けである。

1号車8人をチームにし、ばらばらに組み合わせた時間割を正しい国の時間割に直す活動の場を設定する。人数を限定しチームにすることで、自分の時間割を完成させるだけでなく、周りの友達の時時間割を完成させるという意識をもたせるためである。すると子どもは自分の時間割を完成させるだけでなく、周りの友達の時間割を完成させるという目的ももち、各国の特徴ある教科を手がかりにインタビューし合い時間割を揃えようとする。そして、相手のカードをもらったり、自分のカードをあげたり、答えを確かめたりしようと What do you have on ○○?や Do you have △ on ○○? を使って(①**知識・技能**)、友達の考えを理解しようとしながら(③**態度**)、友達の反応に応じてやりとりする(②**思考力・判断力・表現力**)。

このようにして一連の学習を経て、目的に合った英語表現を用いて、相互に不足した情報を補い合う子ども(C n)になる。

## 働き掛け5

ばらばらに組み合わせた時間割を正しい組み合わせに直す活動で何が分かったのか、どうやったら分かったのかを振り返りシートに記述させる。

発揮した資質・能力を自覚させるための働き掛けである。

活動を終えた子どもたちに、何が分かったのか、どうやったら分かったのかを振り返りシートに記述させる。何が分かったのかを問うことで英語表現を使ったことで得られた情報を振り返らせ、どうやったら分かったかを問うことで、いつ、どのような場面で英語表現を使ったのか再度認識させるためである。子どもは「初めは外国の時間割が分からなかったので、○曜日には何の教科があるのかや、○曜日に△の教科はありますかと聞きたくなかった。そしてWhat do you have on Monday?と尋ねると月曜日にどんな教科があるのかを、Do you have Swahili on Monday?と聞くとスワヒリ語が月曜日にあるのかを知ることができた。相手の時間割がほしい時に○曜日にスワヒリ語はありますかと質問したり、自分の時間割をあげたい時に○曜日にロシア語はありますかと質問したりしながら交流して時間割を完成させることができた。ケニアではスワヒリ語や農業、ロシアではゲームの授業をしていることが分かった」などと記述する。子どもは、使った表現、目的に合った使い方、伝え合った内容などを振り返り、発揮した資質・能力を自覚する。

## 7 本時の構想 (本時 2/7時間)

### (1) ねらい

外国語の時間割について、知っている語彙と新たな英語表現とを関係付ける活動を通して、目的に応じた英語表現を使ってコミュニケーションを図ることができる。

### (2) 主張(展開) 45分

#### このような子どもに(C0)

- 時間割を伝える活動を行うことを理解している。
- 必要な言語材料に触れている  
英語表現 = I have 教科 on Monday.  
語彙 = 曜日 (Sunday, Monday, Tuesday, Wednesday, Thursday, Friday, Saturday)  
教科 (japanese, math, social studies, science)
- 相手が言った言葉を聞き取れなかった場合、ゆっくり言ってもらい、繰り返し言ってもらい、スペルを書いてもらうなどして相手の思いを理解するための方法を学んでいる。  
英語表現 = Please speak more slowly.  
Once more please.  
How do you spell it?

#### このように働き掛けると【働き掛け1】

- 日本語の時間割を英語で復習させる。  
・指示「時間割を英語で覚えていますか。復習してみましょう。Let's review subject's name.」
- ケニア、ロシア、中国の時間割をばらばらに組み合わせた資料を配付する(すべては渡さず、子どもによってもっている資料が違うようにする)。  
・指示「今日は外国語の時間割を持ってきました。持ってきた国はケニア、ロシア、中国です。今からケニア、ロシア、中国の時間割を配ります。封筒の中にどこかの国の時間割が入っています。まだ、中を見てはいけません。そして他の人の時間割も見えてはいけません。全員に届きましたね。それではあけてください」  
※補助発問「○○さんはこの時間割がおかしいと思ったんですね」  
※補助発問「他におかしいと思った人はいますか。おかしいと思った人は手をあげてください」

#### このようになり(C1)

- 前時で使ってきた英語の復習をする。  
・思い出してきた。  
・国語は Japanese, 算数は math だったな。  
・ほかの教科も覚えていた。
  - ばらばらに組み合わさった外国の時間割を見て、違和感を感じる。  
・え〜と、中国語が入っているから自分の時間割は中国かな。あれ、スワヒリ語、ロシア語も入ってる。これはどこの国だろう・・・  
・ロシア語が多く入っているから、ロシアかな。中国語、スワヒリ語も入っている。なんか変だな。  
・中国にスワヒリ語があるよ、なんだかおかしい。
- ※ .....のように、外国の時間割を比べ、違和感を感じているような発言があれば、日本と異

なる文化に着目し、目的に応じて必要な表現を考える「見方・考え方」を働かせ、違和感をもった姿とみなし、通過とする。

### このように働き掛けると【働き掛け2】

- 違和感の原因を問う。
  - ・発問「みんなは、その3つの時間割が変だと思うんですね。それはなぜですか」
  - ・指示「実は3つの国の時間割をばらばらにして持ってきました。号車ごとにぴったり揃うようになっています。今日は正しい時間割に完成させてください。お互いに見せ合うのはいけません」
- どのような情報があれば違和感が解決できるか問う。
  - ・発問「どうすれば時間割を完成させられそうですか」
  - ※補助発問「なぜ交換をするの」
  - ※補助発問「時間割を完成させるにはどんな英語表現が必要ですか」
  - ※補助発問「考えがある人は教えてください」
- 子どもたちが考えた表現を英語で伝え、その表現で知りたい情報が得られそうか確かめる。
  - ・指示「○曜日に何の教科がありますか。は英語で What do you have on ○○?と言います」  
「○曜日に△の教科がありますか。は英語で Do you have △ on ○○?と言います」  
「日本の時間割を使って、この英語表現を試してみましょう」
  - ※担任とALTで2種類の英語表現を使った見本を見せる。
    - ・指示「じゃあ、この英語表現を使って日本の時間割を聞けるか試してみましょう。月曜日から聞いてください」  
「I have Japanese social studies math,home economics,Gakkatu,science, on Monday.」 月曜  
「I have P.E.,Japanese,matth,science.socialstudies,English on Tuesday.」 火曜  
「I have music,math.,Japanese,P.E.,art and crafts,moral on Wednesday.」 水曜  
「I have math,socialstudies,English,Japanese,homeeconomics,Sougou on Thusday.」 木曜  
「I have matth,Japanese,science, Sougou,music,P.E. on Friday.」 金曜  
「月曜日に国語はありますかと聞いてみてください」  
「Yes.I have Japanese on Monday.」  
「月曜日に体育はありますかと聞いてみてください」  
「No.I don't have P.E. on Monday.」
  - ※本時の導入で利用した日本の時間割を使って確認する。
  - ※どの子どもも2種類の英語表現とその答え方が言えるよう全体で確認する。
  - ※補助発問「みんなが考えた表現を使ったら、知りたい情報は聞けそうですか」

### このようになり(C2)

- 日本と異なる文化に原因があることに気付く。
  - ・だって中国語の授業が多いから、中国かと思ったらロシアとスワヒリ語も入っていて、なんだか変ですよ。
  - ・自分のはロシア語が多いんだけど、中国とスワヒリ語も混ざっている。他の国と混ざっているんじゃないかな。
  - ・えー、どうやって完成させればいいの？
- どのような情報があれば違和感が解決できるか考える。
  - ・交換をする。
  - ・いらないものはあげて、ほしいものをもらえば時間割は完成しそうだから。
  - ・○曜日にどんな教科があるか聞きたい。
  - ・○曜日に△の教科がありますか。と聞けば解決できそう。
- 考えた表現を英語で学ぶ。
  - ・What do you have on ○○?と聞けば、○曜日にどんな教科があるか分かるんだ。
  - ・Do you have △ on ○○?と聞けば、○曜日に△の教科があるか分かるんだ。  
英語表現を確認する。
  - ・What do you have on Monday?
  - ・Do you have PE on Monday?
- ※ 各曜日に何の教科があるか聞けるように確認する。
- 考えた英語表現を使うと、疑問が解決できそうかを試す。
  - ・What do you have on Monday?
  - ・What do you have on Tuesday?
  - ・What do you have on Wednesday?

- ・ What do you have on Thursday?
- ・ What do you have on Friday?
- ・ Do you have math on Monday?
- ・ Do you have science on Tuesday?
- ・ この表現があったら他の国の時間割を聞くことができそうだ。

※ ..... のように異なる文化に原因があることに気づき、時間割を聞く表現を考えるような発言があれば、日本と異なる文化に着目し、目的に応じて必要な表現を考える「見方・考え方」を明確化し、違和感を解決する見通しをもった姿として、通過とする。

### このように働き掛けると【働き掛け3】

- どの国の時間割を集めさせるかの台紙を配付する。
  - ・ 指示「それでは今から号車ごとにどの国の時間割を集めるかの台紙を配ります。自分のところに来た台紙の国の時間割を集めます。自分が集めやすい国の台紙を選ぶと良いですね。グループで台紙の数が決まっているので、希望通りにならなくてもその国の時間割を集めてください」
- 誰に対してどの英語表現を使って関わろうとしているかとその理由を記述させる。
  - ・ 指示「自分が時間割を完成させる国は決まりましたね。この後号車で協力して、時間割を完成させてもらう活動をします。時間が来た時に、号車の何人の人が正解の時間割になっているかがポイントになります。号車の人と交換して、時間割を完成させましょう。ルールは分かりましたか。まず活動の前に、自分の号車の誰にどんな英語表現を使って関わろうとしているかをワークシートに書いてください。そしてその理由も書いてください」
  - ・ 補助発問「あなたは誰に対して、どんな英語表現を使いますか。その理由も教えてください」
  - ・ 活動内容への質問があった場合、適宜説明する。

### このようになり (C3)

- 台紙を号車の友達と分け、どの国の時間割を集めるか決定する。
  - ・ 僕は中国語の時間割が多いから、台紙は中国が良いな。
  - ・ 私はロシア語の時間割が多いから。ロシアの時間割を集めたい。
  - ・ スワヒリ語が多いんだけど、ロシアの時間割を集めることになった。たくさん交換しなくちゃだな。
- 誰に対してどの英語表現を使って関わろうとしているかとその理由を記述する。
  - ・ 僕はロシア人になるから、ロシアの人とカードを交換する必要はないな。
  - ・ 私は中国人になるから、ロシアとケニアの人に時間割を聞こう。そのために。さっきの2種類の英語表現を使おう。
  - ・ 時間割を交換し終わった後は、友達と確認をするために What do you have on ○○? を使おう。

※このように学んだ英語表現はいつ、どのような場面で使えるのかを考えるような記述があれば学んだ英語表現を、目的に合わせて使い分ける姿として通過とする。

★外国語②

### このように働き掛けると【働き掛け4】

- ばらばらに組み合わせた時間割を時間割を正しい組み合わせの場を設定する。
  - ・ 指示「それでは、これからみんなで見つけた英語表現を使って時間割を完成させてもらいます。号車の人と交換するとすべての時間割がぴったり合うようになっています。友達とインタビューをし合って、もし友達の○曜日の時間割が自分のだと思ったらもらってください。また、自分の○曜日の時間割が友達のだと思ったらあげてください。インタビューして、時間割を交換し合うと自分の国の時間割が完成します。授業の最後に答えを発表します。号車で何人の人が正解だったかを数えます。自分の完成した人は友達と確認をしておくといいですね。それでは始めてください。」
  - ・ 指示「教科名が英語で分からない人はそこだけ日本語で伝えてください。例えば、I have 農業のように伝えます」

※補助発問「やる事が分からない人はいますか」

※子どもからルールについての質問があった場合、適宜説明する。。

※やり方が分からない子どもがいないように、担任と ALT は教室を回り適宜アドバイスをする。

※情報を補い合おうとした子どもがいた場合、どのような意図をもってその表現を使ったのかを問う。

### このようになる (Cn)

○ 考えた英語表現を用いて、日本と異なる文化に着目しながらペアの友達と関わろうとする。

例 A(ケニア人役,火曜日に中国語が入った時間割のカードを持っている) B(中国人役)

A: What do you have on Thursday?

B: I have math, Swahili, NOUGYOU, music, English.....

A: Swahili? Please give me.

B: OK. Here you are.

A: Thank you. Do you have on Chinese on Tuesday?

B: Yes, please give me.

A: Here you are..

B: Thank you.

ユ ・スワヒリ語があればだぶんケニアだ。だから、Do you have Swahili on Monday?とインタビューしよう。

・僕はケニア人だから中国語が入っている曜日は中国の人にあげよう。必要な人にあげるために、Do you have Chinese on Thursday?と聞こう。

・もう集め終わったけど、一応確認で友達と時間割を聞こう。What do you have on Monday?を使って同じ国の人と答えをチェックしよう。

※教科名が分からない場合それは日本語で伝えてよい。例「I have 農業, スワヒリ語 on Monday.」

※ \_\_\_\_\_のように、相手のカードをもらったり、自分のカードをあげたり、答えを確かめたりしようとする目的に合わせて、学んだ英語表現を使って、友達の考えを理解しようとしながら、友達の反応に応じてやりとりする姿が見られたら、目的に合った英語表現を用いて、相互に不足した情報を補い合う姿として表れありとする。

★外国語①, ②, ③

### このように働き掛けると【働き掛け5】

○ ばらばらに組み合わせた時間割を時間割を正しい組み合わせにする活動で何が分かったのか、どうやったら分かったのかを問う。

・発問「時間割を完成させる活動を通してどんなことが分かりましたか。また、それはどうやったら分かりましたか。振り返りシートに記入します」

※ワークシートを配布する。

### このようになる (C5)

○ 分かったことと、どうやったら分かったのかをワークシートに記入する。

・初めは相手の時間割が分からなかったので、○曜日には何の教科があるのかや、○曜日に△の教科はありますかと聞きたくなった。そしてWhat do you have on Monday?と尋ねると月曜日 にどんな教科があるのかを、Do you have Swahili on Monday?と聞くとスワヒリ語が月曜日にあるのかを知ることができた。相手の時間割がほしい時に○曜日にスワヒリ語はありますかと質問したり、自分の時間割をあげたい時に○曜日にロシア語はありますかと質問したりしながら 交流して時間割を完成させることができた。ケニアではスワヒリ語や農業、ロシアではゲーム の授業をしていることが分かった。

※ \_\_\_\_\_のように課題解決した課程を振り返り、発揮した資質・能力に関する記述をしていたら、発揮した資質・能力を自覚している姿とする。

## 8 検証

### (1) 検証すること

- ① 構想した働き掛けにより、想定したC nになったか。
- ② 構想した働き掛けにより、想定した「見方・考え方」を働かせることができたか。
- ③ 構想した働き掛けにより、想定した資質・能力を発揮することができたか。
- ④ 構想した働き掛けにより、想定した資質・能力を自覚することができたか。

### (2) 検証の方法

- ① 働き掛け4を受けて、\_\_\_\_\_のように、目的に合った英語表現を用いて、相互に不足した情報を補い合うことができたかを発言ややりとりの実際の子どもの姿で検証する。
- ② 働き掛け1, 2を受けて \_\_\_\_\_のように日本と異なる文化に着目し、目的に応じて必要な表現を考えると「見方・考え方」を働かせたかどうかを発言、挙手、ワークシートの記述から検証する。
- ③ 構想した働き掛け3, 4において、\_\_\_\_\_や\_\_\_\_\_のように設定した資質・能力が発揮されたかどうかを発言ややりとり、振り返りシートの記述から検証する。
- ④ 働き掛け5を受けて \_\_\_\_\_のように発揮した資質・能力を自覚したかどうかを振り返りシートの記述から検証する。